

Joy だより No. 17



2024年1月発行

特定非営利活動法人 Joint Joy

明けましておめでとうございます。2024 年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

暖冬といわれつつもぐっと冷え込む日もあり、健康に過ごせるように一段と工夫が必要な日が続くので、事業所の中では「体を温めて自律神経をくるわさないようにしましょう～」と毎日声かけが続いています。

去年は夏からぐっとお弁当とお菓子のご注文が増え、メンバーさんと職員は大忙しの後半戦でした。そのような中でも1泊旅行の年、その準備を進め無事に終え、節目の記念行事を行うことにしたのでその準備もあわただしく現在進行中です。

時のすぎるのが早く、年度末の片づけがままならないままに年末を迎えている状況に唖然とする始末。色々考えさせられる2023年でした。

みんなのお楽しみ 一泊十日帰りレクレーション



Joint Joy 恒例(?) 二年に一度の泊旅行に出かけてきました。12月15日金曜日、いつもはお弁当の配達を終えて出発していたのですが、今回はお休みを頂き普段より早い集合で朝からバスに乗りこみました。

1日目は志摩スペイン村。まずは園内のレストランでパエリアを昼食に頂きました。到着したときは予報通りの「雨」が残っていて閑散とした雰囲気だったのですが、そこは皆の普段の行いの良さ(?)が神様に伝わったのか、グループに分かれて移動しだすと、休止していた乗り物は動き出し、絶叫にチャレンジする人、回転木馬で満足する人、ゆっくりショップ巡りする人・・・とそれぞれ3時間近くを楽しめたようです。

再びバスに乗ってホテルへ。豪華で温かいおもてなし夕食。目の前で貝やエビを焼いてくださったのには、思わず席を立てて写真を撮ってしまいました。温泉も4回入った人がいたとか。

土曜日はこれまた朝早く八幡を出発した日帰り組と、伊勢神宮で合流。少人数に分かれておかげ横丁を自由散策しました。事前にパンフレットで気になっていたお店を見に行ったら、「赤福はやっぱり本店で」とこだわって並んだ人とそれぞれだったようです。

ちなみに私の3人グループは、伊勢うどんと手こね寿司のセットを頂きました。昔「これはうどんじゃない!」とコシのなさに驚いた記憶があったのですが、今回は美味しくいただきました。年を重ねたからでしょうか…(笑)

1日目のスペイン村で1名転倒による切り傷を負うことはあったのですが、100%あきらめていたお天気も奇跡的(?)に回復し、2日間欠席者や病人も出ず全員が楽しめた旅行でした。

ご迷惑をおかけしているにもかかわらず、月曜日のお弁当配達時や店頭で「楽しんできたか?」と声をかけて下さるお客様方にもう一度うれしかった Joint Joy メンバーでした。

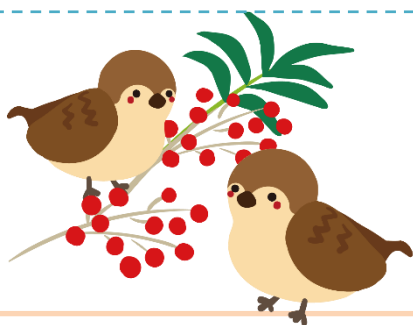


= ご入会

ありがとうございます＝

春にこの Joy たよりを発行し同時に入会のご案内をお配りしたところ、地域のお客様や応援くださっている方から例年になく多くの正会員と賛助会員のご入会を頂きました。心よりお礼申し上げます。

認定 NPO にはまだ遠いですが、地域に根付き NPO として活動を続けてきたことが、少し認めて頂けたような気になりうれしくなりました。これからも地域に大切にしていだけるようにお役に立つ NPO を継続してまいりたいと思いますので、末永くよろしくお願い申し上げます。



= 賛助会員ならびに正会員 ご登録について＝

賛助会員

Joint Joy の情報を優先的にお知らせいたします。総会へ参加いただきご意見等もお伺いし、法人の成長と一緒に見守っていただいております。

正会員

Joint Joy の運営にかかわり、よりよい組織つくりのためにご尽力いただいております。

会費(年間) ※入会金不要

賛助会員 個人 | □ 3,000 円

賛助会員 団体 | □ 5,000 円

正会員 個人 | □ 10,000 円

= 助成ありがとうございます＝

○公益財団法人

24 時間テレビチャリティー委員会 様
スロープ付き自動車

＊ 中古で購入した車いす用車両が老朽化。到着を待ちわびております。

○公益財団法人公益推進協会

東邦電気産業基金 様

施設内外における相互理解を深め、親睦を図るための企画に対する費用

＊ 10 周年記念行事費用として使用させていただきます。

= 編集後記 =

利用者さんの日常の様子をもっと書きたかったのですが、29 名分はなかなか難しく、続きは次回としましたが、この Joy たよりが年 1, 2 回ではこれもまた何時になるやら…そのうちにメンバーさんが卒業し、成長の方が早く追いつかないかもしれません。一見は百聞に如かず、ぜひ皆の日常を見に来てください。おついでにお買い上げもいただけると嬉しいです(*^^)

〒614-8376

京都府八幡市男山竹園 2 - 1 A03-110

☎075-981-2111

fax075-981-2277

特定非営利活動法人 Joint Joy

e-mail joint-0523@forest.ocn.ne.jp

HP <http://www.jointjoy.jp>

指定サービス事業所

就労継続 B 就労定着

No. 2612901369

指定計画相談

No. 2632901522



メンバーさんの様子



🌸写真が趣味のKさん…ここ何年かとおきの芸術祭障がい者作品展に出品され賞をとっておられるのですが、今年は2番目に良い「京都南ロータリークラブ会長賞」を受賞されました。その写真はいつも一緒に作業されている方の手で、組みひもを組む「働き者の手」をモチーフにモノクロで構成された写真でとても味のある作品になっていました。エリートの道を走ってこられた途中でのご病気から色々なことがあったと聞いていますが、今こうしてご自分の人生を楽しみながら仕事をすすめ、Joint Joyのためになることをしたいと励んでくださっています。

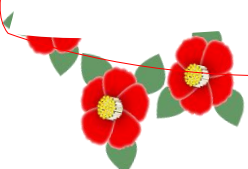
🌸昨年2月から京都市北区から通所されているTさん…高校も遠いところへ通われていた経験があるということで、バスと京阪電車を利用して通っておられます。しばらくはご家族が付き添われていたのですが、夏になる頃からお一人で通所されるようになりましたが、居眠りや降りそこねて京橋まで行き戻ってこられることも多々。お気に入りの椅子があるらしく、そこに座ると降りられないなど、彼なりの理由はあるそうです。それでもスローなペースでにこやかに作業を進められています。今までおしゃべりすることが苦手だったのですが、Joint Joyでは返事や自分の意見を求められるのでご家庭での会話が増えたとお聞きしています。

🌸お二人とも病気から復活のMさんとHさん… どちらから誘いあうのかははっきりしませんが、良くお二人でバス旅行に行かれていました。昨年はお二人とも大病を患われ入院などで事業所に通えるようになったのも秋が過ぎてからになりました。旅行はJoint Joyの一泊旅行で我慢され、クリスマスお正月と一緒に楽しまれたようです。お正月は金額も高いのに、わざわざ楠葉のビジネスホテルに宿泊。支援者たちの助言は聞き入れられずでしたが、それはそれで満足されていたようです。

🌸しっかり者のOさん…かれこれ9年通われているOさんは、厨房の仕事を一緒に考え今のカタチにしてきたこともあり、新しい職員やメンバーさんに厨房のことをおしえてくださる頼りになる方です。昨年は頑張ってきた疲れが出てか、体が思うように動いてくれずお休みが増えました。昨年前半はご自身も悩まれていましたが、夏に長期休暇の提案をし、今の体調に合わせて継続できる方法を一緒に考えました。冬になり少しリズムも戻り、無理のないように体がyesという日はいつものOさんです。長い人生、健康とお仕事、趣味や楽しみ、そして付き合わないといけないハンデ、バランスをとりながらペースをつかみ、やりたいことなど見つけれられるといいね、と話しています。

🌸難しいことは苦手だけど手先は器用なUさん・Kさん×2名・Sさん…数字や計算、文章や会話は苦手、長々の説明はとんでもない。でも配達の順番、お弁当のおかずを3個までならOK。机をふいたり食器や器具の片付けも覚えているから大丈夫。お客様が来られたら大きな声でお礼が言えたり笑顔がステキだったりと年月が経つほどに頼りになる同士になってられています。ちょっと見ていないと違ったことになることもありますが、そこは職員が修正。急いで！！というとちゃんと急いでくださることもあります(*^*)v

🌸一般就労に疲れたKさん…今までたくさんチャレンジしつつもあまりうまくいかず疲れてJoint Joyに来られたKさんは、なんでもそつなくこなされます。でも朝が苦手、気持ちも走り焦って失敗してしまうような場面がありました。もうすぐ1年が経とうとしている現在、焦って失敗することはなくなりました。朝の苦手は継続中ですが、それでお休みになることは1度もありませんでした。そして、ご自分で遅れた理由朝の振り返りをされてから元気に作業に入ってくださいます。Kさんの一番ステキなところですよ。





周年記念行事の準備

2023年5月23日で特定非営利活動法人 Joint Joy は10年を迎えることができ、10年の節目に何かした方がよいのだろうか、いらないのだろうか…と悩んだ末にいろいろ相談をして行事を行うことにしました。このような行事もまた初めてのことで、グーグルで「記念行事」を検索、例を挙げて私たちに内容にするために職員会議と理事会で話し合いをしました。

なかなか労のいること。日程、会場、記念品、皆が楽しめるにはと担当を分けてそれぞれの職員が思いめぐらせ準備を進めてくれています。慌ただしい日常業務にプラスされ、メンバーさんにもかかわっていただいと試行錯誤中。当日どのようになるかととても不安ですが、この間のお礼の気持ちを伝えることができれば、そして日々通って下さるメンバーさんと職員がこ

Joint Joy の福祉サービス



Joint Joy が当初行いたかったことは、働きたいが配慮してくれるところがない、力はあるのに活躍する場所がない、試して失敗したけどやり直したい。そのような人と一緒にチャレンジをして、それぞれの思いをかなえられる仕事ができる場所をつくることでした。今思えば経験も資金力もない中でよく始められたものだ、同じ思いを持ってくださる「人」の力が集まり続けることができたのだと感謝しかありません。

この10年、利用者の方は延べ49名 ボラさん含む職員登録延べ50名、現在、利用者29名ボラさん含む職員登録17名となっており、人の入れ替わりの多い10年でした。

その要因を他の人にも相談し長く考え続け、色々あると思われそうですが、やはり「一緒にチャレンジしてそれぞれの思いをかなえられる場にする」というところではないだろうかといきつきました。心に秘めた強い思いやチャレンジしてみたいという冒険心、考えを建設的に分析し楽しめる素質を持ち合わせていたり。そしてお一人お一人の人生の中でのタイミングと、人に惑わされず自分のペースで進むことができる能力などがカギになっているのではないかと考えています。チャレンジするということは自分の壁を超えなければならず、見たくない自分であったりすり抜けてきた壁であったりします。なので、私自身も「もうだめだ!」と思うことがよくあります。利用者の方も職員も互いに壁という点で自分自身と切磋琢磨している場、それが Joint Joy のようです。

そのような場に何年も継続して通われている利用者さんのすばらしさに感動します。私たちもサービスを受けているような気になることがあります。あえて自分と向き合うようなつらい思いをする場所を選択しない人、それを楽しみ自分自身の糧にする人、どちらが良いというものではなく一つの人生の選択。でも、利用者の方はどの方もここで仕事がしたいと思い選び通って下さっています。その思いと人生の大切な時間を共有している責任をしっかりと受け止め、やはり「一緒にチャレンジしてそれぞれの思いをかなえられる場にする」ことを忘れてはいけないと、記念行事の準備を進めている中で改めてかみしめています。

Joint Joy は現在進行形で進んでいますが、利用者の方と職員にとって有益であって、この先も Joint Joy らしさを失わず社会の価値を変えていける集団になれば良いなと夢見ています。ちなみに Joint Joy は厳しいところという噂があるそうですが、その厳しさは上記が理由なのではないでしょうか(#^へ^)#…ちがうかなあ〜 記念行事をさせて頂くにあたり未来を話し合う中で何を大切にしていきたいか、当日緊張してうまくお伝え出来ないかと思い、少しこちらへ書かせていただきました。

個性豊かで自分流儀を曲げない人が多く集まるのも上記が理由かもしれません(;’∀’)

